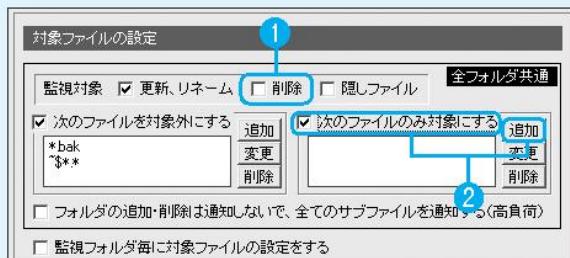


さらに「監視フォルダ毎に対象ファイルの設定をする」のチェックをオンにすれば、フォルダごとにファイルの種類を指定して、より細かい監視ができるようになります(図14)。表示されているフォルダーを選択して[フォルダ毎に設定する]をクリックし、監視するファイルの種類を登録します。「区分」が「共通」になっているものは、上に表示されている共通の設定を使用します(図15)。

もう1つ、特にネットワークを使う会社のパソコンで便利な設定をしておきましょう。左側メニューの[その他の設定]をクリックして、「監視するフォルダにアクセスできない場合、メッセージを表示する」のチェックをオンにして、「毎回表示する」を選択し、任意のメッセージを入力します(図16)。この設定をしておくと、ネットワーク上の共有フォルダーを監視している場合に何らかの原因でネットワークが切断されるとメッセージが表示されるようになり、ネットワークのトラブルを知るとともに、更新のチェック漏れも防ぐことができます。ただし外出して持ち歩くノートパソコンなどでこの設定を指定してしまうと、外出中に頻繁にメッセージが表示されてしまうので、使用はあくまで机上のパソコンで行なってください。

1つのファイルを複数のユーザーで共有する作業はグループワークや大きなプロジェクトで頻繁に行なわれる操作です。「フォルダ監視」を使ってファイルの更新状況を素早く把握すれば、速やかに次の仕事が実行できるようになり、仕事の効率や生産性がアップするでしょう。

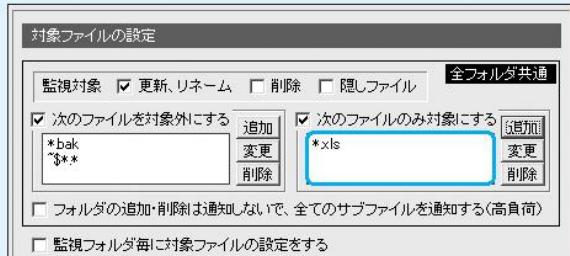
■図11



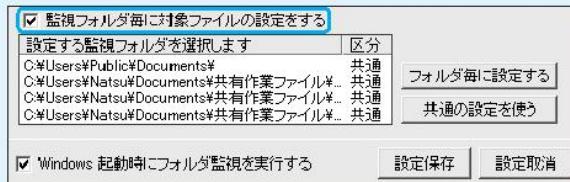
■図12



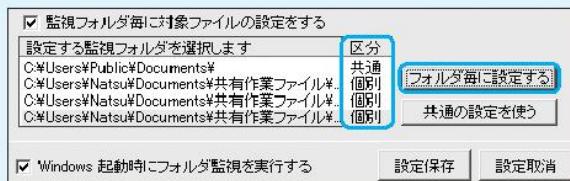
■図13



■図14



■図15



■図16

